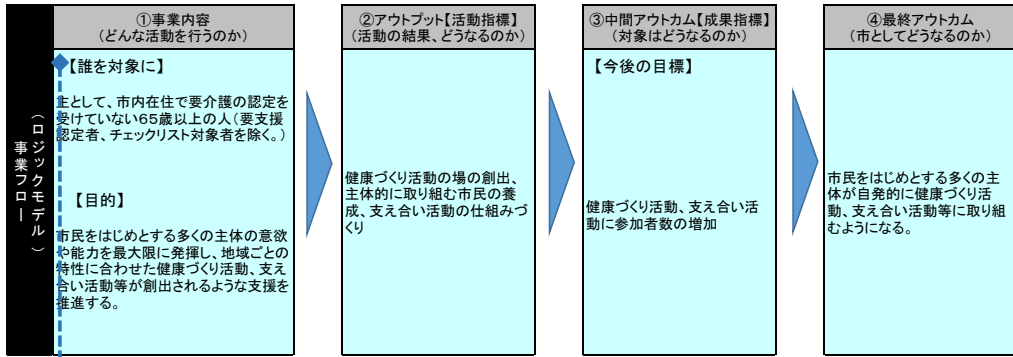


長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	58	事業名	一般介護予防事業	担当部課	福祉部長寿課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	4	誰もがいきいきと安心して暮らせるまち	決算書 ページ	—
	行政改革指針・重点課題	—		会計 区分	介護保険特別会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款 - 項 - 目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有	長久手市第8次高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画	3-1-2 一般介護予防費	
	事業開始の背景、経緯等	平成29年4月から介護保険法の改正により、高齢者に対して、地域の実情に応じた効果的な介護予防及び日常生活支援を行うことが定められたため、全ての市町村が「介護予防・日常生活支援総合事業」を開始することになった。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)		



項目	単位	区分	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
事業費(A)	千円	予算	38,333	39,133	38,907	33,198	32,775
		決算	34,122	30,523	28,926	27,273	—
人件費(B)	千円	決算	19,298	13,157	13,290	10,904	—
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	53,420	43,680	42,216	38,177	—
事業対象の数(D) (R5年度は想定数)	人		8,140	8,588	9,143	9,239	9,636
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		5	6	5	5	

中間アウトカム【成果指標】の数値設定 (事業の意図を反映する指標)	単位	【現状】		【目標①】		【目標②】	
		R4年度(2022)年実績	R9年度(2027)年実績	R9年度(2027)年実績	R14年度(2032)年実績		
健康づくり活動の場への延べ参加者数 (指標の設定根拠)	人	9,540	10,000	10,000	11,500		
健康づくり活動の場への参加者数は、健康づくり活動に関わろうとする意識の高まりを図ることができる指標であるため		(数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) 新型コロナウイルス感染症対策による高齢者の外出自粛の影響があるものの、感染対策を十分に行った上で「通いの場」等を実施することにより、参加者数を維持できると考え、目標を設定。引き続き、市内事業所など市内の地域資源と連携して通いの場を維持する。					

事業開始からの経緯など	平成29年4月から介護保険法の改正により、高齢者に対して、地域の実情に応じた効果的な介護予防及び日常生活支援を行うことが定められたため、全ての市町村が「介護予防・日常生活支援総合事業」を開始することになった。
令和4年度の成果	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 民間企業や大学との連携が進み、企業や大学が持つ資源を活用した介護予防事業を実施することができた。良い取り組みをしているが、すべての地域に事業の情報が行き届いてはいないという意見があった。
改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 地域に情報が行き届くため、地域のリーダーであるまちづくり協議会長・自治会連合会長・区長会議や、民生委員児童委員定例会等で事業の周知を行う。また、通いの場は比較的健康な方、健康意識のある方が参加しており順調に進めているため、フレイル状態にある方をターゲットにした介護予防プログラムの実施を進めていく。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事業の方向性) 令和5年度から地域のリーダー等にも事業の意図及び事業参加のメリットを適切に広報し、参加者層の拡大及び自発的な活動につなげていく。また、令和5年度からフレイル状態の方を対象に、フレイル予防教室を実施する。
--------	---

事務事業①	ワンコインサービス事業						
活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	R8年度(2026)
(1) 【アクションプラン】有償ボランティア(支援者)による支援回数(単年)	回	見込	2,700	2,800	2,900	3,000	3,100
		実績	2,250				
(2) 新規利用登録者数(単年)	人	見込	40	42	44	46	48
		実績	43				
(3)		見込					
		実績					
<備考:活動の概要(R4年度(2022))>						今後の方向性	拡充
「長久手サポートプロジェクト」として、アプリを活用したマッチングの仕組みが始まり、ワンコインサービス事業では令和5年1月から実装している。支援者の発掘に苦戦しているが、プロジェクトの横の繋がりからも相互の支援者の増加に繋げていきたい。						コスト投入	現状維持

事務事業②	地域いきいきライフ推進事業						
活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	R8年度(2026)
(1) 【アクションプラン】いきいきライフパートナー登録者数(累計)	人	見込	100	110	110	120	130
		実績	66				
(2) 健康づくり活動の場開催回数(単年)	回	見込	800	850	900	950	1,000
		実績	975				
(3)		見込					
		実績					
<備考:活動の概要(R4年度(2022))>						今後の方向性	改善・見直し
市民、市民団体、民間企業、大学、行政等健康づくりや支え合い活動に資する集いの場の運営者・関係者やそこに参加している市民同士の多様な交流と、交流を通じた多様な主体の連携を促進するための機会の創出を目的に、健康測定会及びサロンと企業のマッチング会を実施し、延べ110名の市民が参加した。						コスト投入	現状維持

事務事業③	[事業内容/目標等]						
活動指標	単位	区分	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	R8年度(2026)
(1) 運営に携わる市民の人数	人	見込					
		実績					
(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込					
		実績					
(3)		見込					
		実績					
<備考:活動の概要(R4年度(2022))>						今後の方向性	
						コスト投入	